

こころにスマイル 未来創造パーク
イワトビペンギンの赤ちゃんが誕生しました！



写真：1羽目、2羽目の赤ちゃん

10月30日（火）、11月2日（金）、11月5日（月）にアドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）でイワトビペンギンの赤ちゃんが誕生し、現在公開中です。当パークでは、事故で卵や赤ちゃんが押しつぶされることを防ぐため、温湿度の管理ができる孵卵器で卵を温め、誕生させています。赤ちゃんは体に力の付き始める体重約100gまでスタッフの手で育て、その後親鳥のもとへ返し親子で過ごす予定です。

【イワトビペンギンの赤ちゃんについて】

- 孵化日：1羽目 2018年10月30日（火）
2羽目 2018年11月2日（金）
3羽目 2018年11月5日（月）
- 性別：全て不明
- 孵化体重：1羽目 50g（11月5日現在 79g）
2羽目 55g（11月5日現在 58g）
3羽目 68g
- 孵化日数：1羽目 2羽目ともに 37日
3羽目 38日

【イワトビペンギンの赤ちゃん公開について】

- 公開時間：開園から終日ご覧いただけます。
- 公開場所：ペンギン王国1階 育雛室

※赤ちゃんの体重が100gまで成長した段階で親鳥のもとへ返します。ペンギン王国2階で親子で暮らす様子をご覧いただけます。

【親鳥主体の子育て方法にチャレンジ ～未来の繁殖を見据えて～】

2008年よりアドベンチャーワールドでは、イワトビペンギンの卵を親から預かり、孵卵器にて孵化させ、その後雛の体重がある程度成長するまで人の手で育て、体力をつけてから親鳥へ返す「初期人工育雛」を行っています。初期人工育雛中、親鳥には擬卵（石灰で作った偽物の卵）を抱かせ、まだ赤ちゃんが生まれてないと思わせます。赤ちゃんが約100gまで成長したら、そと擬卵と引き換えに赤ちゃんを抱かせます。



擬卵を抱いている親鳥



赤ちゃんに給餌中のスタッフ



親子の様子

【アドベンチャーワールド ペンギンプロジェクトについて】

アドベンチャーワールドでは、1978年の開園時にフンボルトペンギンとイワトビペンギンの飼育を開始し、1990年から自然界で暮らすペンギンコロニー（繁殖群）を再現すべく、「ペンギンプロジェクト」として本格的に飼育・繁殖研究に力を注いできました。アデリーペンギン、ヒゲペンギン、ジェンツーペンギン、キングペンギンと繁殖実績を積み、1997年に世界最大のペンギン、エンペラーペンギンの繁殖研究を開始しました。

【アドベンチャーワールドのイワトビペンギン繁殖の歩み】

2003年12月：現在の飼育群の基となる個体7羽を南アフリカの水族館より搬入

2006年10月：初めての繁殖に成功（人工育雛により2羽育成）

2008年～ ：初期人工育雛による繁殖に成功

2006年～現在までに28羽のイワトビペンギンが誕生

【イワトビペンギンについて】

- 分類 ペンギン目ペンギン科マカロニペンギン属
- 学名 *Eudyptes chrysocome*
- 生息地 亜南極圏の島々
- 寿命 約20年
- 食性 オキアミなどの小さな甲殻類や小魚やイカ
- 繁殖 岩場に大きなコロニーと呼ばれる共同の繁殖場を作り、巣を小枝や石で巣作りをする。1～2個の卵を産卵することが多い。
- 特徴 両足をそろえた状態で、器用に岩場を飛び跳ねて移動することから「イワトビ」の名がつけられた。頭部にある黄色の飾り羽が特徴的。